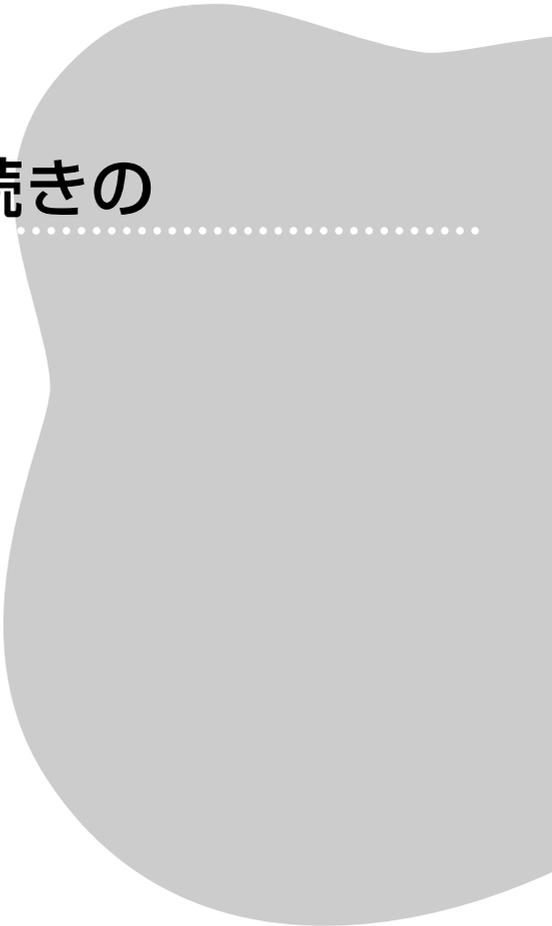


5部

4月生
進級手続きの
ご案内



1 正科生の進級手続き

1 進級手続きの流れ

4月生・正科生の方に、2/4に来年度学費納入依頼書をお送りします。進級を希望する方は納入をお願いいたします。学費納入をいただいた方から順次「履修登録用紙（OCR用紙）」を送付します。早めに履修登録を行えば早めに教科書が届きます（3/1以降予定）。

また、特例で3/21以降開講のスクーリングについては、下記記載の日程で諸手続きを行えば、新学年で履修した科目も受講できます。

●スクーリング受講可能日と入金・履修登録期限（正科生の場合）

	学費納入期限	履修登録期限（必着）
3/21～3/30の春期スクーリングⅠ	2/20	3/6
4/5～20の春期スクーリングⅡ	3/4	3/18
4/25～5/11の春期スクーリングⅢ	3/20	4/3

※3月末までのスクーリングは4月より休学する方もこれまでに履修登録を行っていただければ受講できます。

4年生の進級の流れおよび履修登録の際の諸注意は、『学習の手引き』4章Ⅰ「正科生の進級手続き」や、履修登録用紙に同封される手紙をご参照ください。

2 休学希望者

4月から休学を希望される方は『学習の手引き』4章Ⅱの要領に従い、本冊子巻末の「休学許可願」を3月末日までに提出してください。平成18（2006）年度以降の入学者は、休学許可願の本学での受理後、順次休

学費納入依頼書（1万円）をお送りいたします。コンビニエンス・ストアから休学費を納入してください（ただし平成17年度以前の入学者は、休学費は無料）。

注1）休学は1年単位となりますので、復学は早くても平成27年4月1日から可能です。

注2）休学中のレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講はできません。休学者にも『With』はお送りいたします。

注3）来年度学費（8～12万円）の納入はしないでください。

3 在籍期間満了予定者へのお知らせ

1年後の平成27年3月で在籍期間10年（3年次編入学者＝8年 2年次編入学者＝9年）となり、満了退学になる4月生の方は、たとえば下記のとおりです。

- ・ 学籍番号05で始まる正科生で休学したことがない方
- ・ 学籍番号04で始まる正科生で休学を1回（1年分）した方
- ・ 学籍番号03で始まる正科生で休学を2回（2年分）した方
- ・ 学籍番号02で始まる正科生で休学を3回（3年分）した方

卒業やめざす目的を是非成就していただければ、と心より願っておりますが、学習計画上、下記の点にご注意ください。

- (1) 在籍年限10年（3年次編入学＝8年 2年次編入学＝9年）が満了してからの休学はできません。つきましては、在籍期間を延長したいと思う方は、平成26年4月～休学をしてください。休学しないと平成27年3月で在籍期間が満了になります。
- (2) 在籍期間が満了退学になっても、再入学は可能です。再入学した場合、これまでに修得した単位は多くの場合有効ですが、再入学年度のカリキュラム表にない科目は、一部認定ができない科目もあります。

4 転学科希望者

『With』96号 p. 46記載のとおり、転学科を希望する方の応募書類の受付は1/20で終了しました。

5 履修状況票の発送

本年2月末までのレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講の記録を記載した「履修状況票」は4/18に発送予定です。

2 4月に編・再入学を希望する場合

●科目等履修生から正科生1年次・2年次・3年次に(編)入学

●正科生を退学・卒業し科目等履修生に再入学

以上を希望の方は、①2014年度募集要項により4/19までに出願、②2月末までに「再入学予定者 事前申告書」の提出が必要です。

注1) 出願上の留意点 『学習の手引き』4章III①「正科生への再入学」、
②「科目等履修生への再入学」や募集要項をよくお読みいただいたうえで、出願をお願いします。また、現在の学籍での「退学願」(正科生)、もしくは「学生証返納・修了届」(科目等履修生)の提出も3月末までに行ってください。

注2) 4月生として再入学を希望する方はどなたも必ず、本冊子巻末の「再入学予定者 事前申告書」に必要事項を記入して2月末までに提出が必要です。事前申告を行わない方で、3月の在宅web科目修了試験受験・スクーリング受講や3月にレポートを提出した場合などについては、4月に学籍番号が変更となる学籍異動を行うことは不許可となります。

す。成績の継続を円滑に行うためですので、お願いいたします。

注3) 再入学すると学費やカリキュラムが変わる場合がありますので、ご注意ください。

【学習上の空白期間のご注意】

学籍に関する手続きには時間を要するため、学習上の空白期間ができ、レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験ができない期間が発生します。ご了承ください。

(例) 旧学籍で3月にスクーリング受講・レポート提出する場合、再入学手続き(出願)は旧学籍での学習をすべて終えた後に行ってください。また、再入学手続き(出願)後は、旧学籍による学習活動は一切できません。4月以降の学習開始は、新学籍での履修登録完了後となります。

3 科目等履修生の継続手続き

1 来年度継続を希望される科目等履修生

【平成22年度以前入学10月生・平成23年度以前入学4月生 科目等履修生の方へ】

学籍番号が02~10TZで始まる10月生科目等履修生の方、および学籍番号が02~11TZで始まる4月生科目等履修生の方は、平成26年3月末で一旦現在の学籍を修了扱いとさせていただきます。

平成26年4月以降も継続して学習することは可能ですが、別途、更新手続きが必要になり、平成26年度入学者のカリキュラムが適用されます。

また、在籍更新手続きにあたっては、在籍更新料30,000円が授業料以外に必要なになります。その後も、3年間在籍することに更新手続きと在籍更新料30,000円が必要になります。

在籍更新手続きは以下のとおりです。

- ① 2月下旬ころ大学から発送予定の「在籍更新手続き書類」に必要事項を記入して返送（3月末日まで）
- ② 履修登録用紙・在籍更新料納入依頼書が届く
- ③ 履修登録用紙返送・在籍更新料納入（4/10まで）
- ④ 授業料納入依頼書届く→授業料納入（4/20まで）
- ⑤ 新学籍番号の学生証・氏名バーコードシールが届く（授業料納入後10日程度）

注1）新学籍での履修登録は現在の学籍での成績が出てから単位未修得の科目について行ってください。現在の学籍が10月生で3月にスクーリング受講・レポート提出予定で、3月末日までに継続するか否かの判断がつかない方は別途ご相談ください。また、在籍更新手続き後は、現在の学籍による学習活動は一切できません。4月以降の学習は、新学籍での履修登録・学費納入後となります。

注2）旧養護学校の旧法カリキュラムでの特別支援学校教諭一種免許状取得希望者、高等学校教諭一種免許状（福祉）の現在までのカリキュラムでの取得希望者は、平成26年3月末までに必要単位を取得しないと、平成26年度入学者のカリキュラムでの免許状取得となります。

注3）今回の更新手続きを行う10月生の方は4月生に変更になります。

注4）詳細は2月下旬発行の「在籍更新手続き書類」に掲載します。

【平成23年度以降入学の4月生科目等履修生の方へ】

4/1以降、学習の継続を希望される場合は、『学習の手引き』4章IVを参照していただき、遅くとも4/10までに履修登録・継続手続きをお願いいたします。継続手続きの書類は2/10ころ発送予定です。

学籍番号が12TZで始まる4月生は平成27年3月末まで、13TZで始まる4月生は平成28年3月末まで毎年履修登録・継続手続きを行えば現在の学

籍番号で在籍が可能です。なお、継続手続きを行わない場合の在籍は本年3/31までとなります。今年度のレポート提出・科目修了試験受験・スクーリング受講は2/28までですが、早めに提出しないと「再提出」の機会がなくなります。

平成26年度履修登録の際の注意点は以下のとおりです。

- ・ 1単位あたりの授業料は6,000円です。
- ・ レポート提出期限＝平成27年2月末（ただし、2/28・3/1科目修了試験のレポート提出期限は2月上旬です）
- ・ 科目修了試験受験・スクーリング受講期限＝平成27年3月10日

2 来年度学習の継続を希望されない科目等履修生

4/1以降学習の継続を希望されない場合は、『学習の手引き』巻末の様式19「科目等履修生 学生証返納届」を利用し、学生証を返送してください。

単位修得証明書の発行をお急ぎの場合は、『With』96号 p. 47～48の留意点を参照の上、早めにレポートの提出をお願いいたします。科目等履修生のレポート提出期限2月末に提出された場合は、証明書発行は4月初旬になる可能性が高いので、ご承知おきください。

※ 科目等履修生に休学制度はありません。新年度の履修登録を4/10までにしない方は修了扱いとなります。

【心理教育・家族教室ネットワーク第17回研究集会仙台大会のお知らせ】

『はじめよう家族教室 ふかめよう心理教育』

会 期：平成26年3月7日（金）～8日（土）

会 場：江陽グランドホテル（仙台市青葉区本町）

大会長：西尾雅明（東北福祉大学総合福祉学部教授）

参加費：＜当日＞学生 2,000 円



心理教育について学びたい／家族教室を開催したい
情報提供のコツをつかみたい・・・

仙台大会は、今、注目のテーマをとりあげ、さまざまな関心にお応えします。

特別講演

「アンチスティグマ活動の現状と課題」佐藤光源（東北大学名誉教授）

「てんかんと心理教育をめぐって」
松岡洋夫（東北大学大学院医学系研究科教授）

教育講演

「自閉症スペクトラムの理解と支援」内山登紀夫（福島大学大学院教授／よこはま発達クリニック）院長）

大会長講演

「地域ケアと心理教育」
西尾雅明（東北福祉大学総合福祉学部教授）

お問い合わせ先

心理教育・家族教室ネットワーク第17回研究集会仙台大会事務局

東北福祉大学せんだんホスピタル（担当：石黒／稲毛）

TEL：022-303-0125 FAX：022-303-0183

メール jnpf2014@tfu-mail.tfu.ac.jp

ホームページ <http://jnpf2014.sakura.ne.jp/> **心理教育 仙台**で検索！

第一人者をコーディネーターに迎え、分科会を開催！

「統合失調症をもつ当事者への心理教育」内野俊郎（久留米大学）◇グループセッションのライブがあります。

「摂食障害の家族心理教育」上原徹（高崎健康福祉大学健康福祉学部）

「認知症の家族支援」加藤伸司（認知症介護研究・研修仙台センター）

「学校現場の心理教育」福井里江（東京学芸大学教育心理学講座）

「うつ病の心理教育：急性期と復職支援」池淵恵美（帝京大学医学部精神科学教室）

「境界性パーソナリティ障害、摂食障害、発達障害などで感情調節が困難な方のご家族のための心理教育」遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所）ほか